

Health Economics Program

一橋大学医療経済高度職業人養成プログラム

医療経済プログラム

一橋大学大学院の修士課程および専門職学位課程に在籍する学生を対象とした
専門職業人養成プログラム



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院経済学研究科

医療経済プログラムは、高度な知識と能力を備えた専門職業人を養成することを目的として、一橋大学大学院経済学研究科が提供している「専門職業人養成プログラム」の一つです。

背景とねらい

社会の高齢化に伴い、医療費は増加の一途を辿っています。2013年度には、国民医療費は40兆円を超えました。こうした医療費は、国民からの保険料、税、および自己負担によって賄われています。その増加は国や地方自治体の財政悪化の要因であり、国民・経済にとって、大きな負担となっています。政府は、医療費の適正化（抑制）や効率化を図ってきましたが、その先行きは定かではありません。

我が国において、医療は「経済問題」であり、その「持続性」が問われています。国民の健康・生命に関わる医療サービスの質を確保しつつ、効率・公平に提供するためには、高騰する薬剤費の適正化、家庭医の普及や病院の連携・機能分化、経営改革など医療提供体制の見直し、医療保険・診療報酬制度の改革が求められています。そこには、エビデンス（実態把握）とロジック（論理構築）を基礎とする、経済学等社会科学の知見が必須です。例えば、「費用対効果」などコストに見合う効果の検証や健康増進・効率化に人々や医療機関の選択を誘導する「インセンティブ改革」などがあります。

医療経済プログラムは、一橋大学大学院の修士課程および専門職学位課程に在籍する学生を対象とし、このような社会的要請に応え得る人材を育成することを目的に設計されたプログラムです。修了要件を満たした学生には、課程修了時にプログラム修了証が授与されます。

医療経済プログラムでは、経済学にとどまらず経営学、社会学、医学、工学などの科目を含む学際的なカリキュラムを提供しています。一部の科目は、東京医科歯科大学、東京工業大学の教員が担当します。理論と実践による体系的な専門教育を行い、医療に係る社会科学の学問的知識に加え医療現場への理解など、幅広い観点で持続的な社会を展望できる力を養います。

医療現場における課題解決や官公庁等における政策形成など、医療関連のプロフェッショナルを目指す学生、また、医療・介護機関や製薬企業、医療機器メーカー、官公庁、自治体など、医療や社会保障の現場で働く社会人学生の方の参加を期待しています。

特徴

- 医療にかかる社会科学の学問的知識を有し、幅広い観点で持続的な社会を展望できる、専門性の高い人材を育成します。
- 経済学にとどまらず経営学、社会学、医学、工学などの科目を含む学際的なカリキュラムから構成されています。
- 参加にあたって、所属する研究科・専門職大学院に制限はありません。
- 一橋大学が参画する四大学連合*の枠組みを活かし、東京医科歯科大学と東京工業大学の教員が担当する科目も提供されます。
- 東京医科歯科大学の修士課程の学生も本プログラムの科目を履習可能であり、多様なバックグラウンドの学生が切磋琢磨する環境にあります。



*四大学連合:東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学

参加方法

▶ 一橋大学 大学院在籍の方

経済学研究科の「専門職業人養成プログラム」への参加募集が、4月初めに行われます。参加を希望する学生は、志願票（所定様式）、志願理由書（A4横書き1,600字程度）を提出し、書類選考、面接を経てプログラムへの参加が認められます。

経済学研究科以外の各研究科・大学院の修士課程・専門職学位課程に在籍する学生も同様です。

▶ 一橋大学 経済学部在籍の方

経済学部在籍する学生で、経済学研究科の「5年一貫教育システム」に参加する者は、学部3年生の秋学期から冬学期に実施される試験において、専門職業人養成プログラムへの募集も同時に行われます。5年一貫教育システム参加内定者となることにより、同時に専門職業人養成プログラム参加内定者ともなりますので、改めて応募する必要はありません。

5年一貫教育システム参加内定者は、学部4年次の7月頃に実施される「大学院経済学研究科修士課程特別選抜入試」を必ず受験しなくてはなりません。この試験を受験・合格することにより、修士課程への入学が正式に許可されたことになります。

▶ 社会人および 他大学に在籍の方

本プログラム参加の要件は、一橋大学大学院の修士課程または専門職学位課程に在籍していることです。入試については、各研究科・大学院のHP等でご確認ください。研究科によっては、社会人特別選考などを行うところもあります。

修了要件

1 医療経済プログラム科目リストから20単位以上を取得すること。

2 公共経済ワークショップ(2単位)は必修。

※国際・公共政策大学院(IPP)に在籍する学生については、公共経済ワークショップに代え、特別研究指導(2単位)を必修とする。

3 以下の科目群から8単位以上を取得(選択必修)すること。

健康増進政策論・医学総論(2単位)、医療管理政策論(2単位)、保健医療活動とリスク管理(2単位)、医療工学概論(2単位)、医療経済学セミナー(2単位)、インディペンデント・スタディ(4単位)

※医療工学概論および医療経済学セミナーは千代田キャンパスで開講(予定)。その他の科目は国立キャンパスでの開講(予定)。

※医療経済学セミナーでは、「医療経済」をキーワードに、様々な分野の講師を内外から招いてリレー式に講義を実施。医療経済学や医療政策についての最先端のトピックについて学び、ディスカッションに参加。

※インディペンデント・スタディでは、学生が医療政策に関するコンサルティングの仕事を自治体や医療機関などから擬似的に請負い、依頼機関との情報交換を重ねながら調査研究を行い、最終報告書を提出。

4 医療政策・経済をテーマとして修士論文を提出。

※ゼミの所属は原則として自由。

医療経済プログラムの修了要件は上記の通りであるが、各研究科・大学院の修士課程・専門職学位課程の修了要件は別に定められているため、履修科目の選択時にはよく確認すること。

なお、医療経済プログラム科目リストにある科目は、本プログラムに参加しなくても、履修可である(インディペンデント・スタディを除く)。

医療経済プログラム

プログラムの申請から修了まで

医療経済プログラム修了要件と
想定されるキャリア

- 医療・福祉機関
- 製薬
- 医療機器
- シンクタンク
- 研究機関
- コンサル
- 金融
- 地方公務員
- 国家公務員

大学院ゼミ

医療政策・経済をテーマにした修士論文を提出。
所属するゼミは原則として自由に選択。
修士論文については、公共経済ワークショップにて報告(発表)

医療経済プログラム

20単位

右記の科目リストから
20単位を履修

医療経済プログラム 科目リスト

経済学にとどまらず、幅広い社会科学、さらには医学、工学にまで広がる、多彩な学際的科目群

必修科目

科目名	単位数
公共経済ワークショップ	2

- : 東京医科歯科大学の教員が担当する科目
- : 東京工業大学の教員が担当する科目
- : 一橋大学大学院商学研究科の教員が担当する科目
- : 一橋大学大学院経済学研究科の教員が担当する科目
- : 一橋大学大学院社会学研究科の教員が担当する科目

- *1: 隔年開講
- *2: 千代田キャンパスにて開講(予定)
- *3: 学部300番台科目

特に開講場所について記載のない科目は、国立キャンパスにて開講(予定)

選択必修

科目名	単位数
健康増進政策論・医学総論	2
医療管理政策論*1	2
保健医療活動とリスク管理*1	2
医療工学概論*2	2
医療経済学セミナー*2	2
インディペンデント・スタディ	4

上記の科目リストから8単位以上を取得すること

専門科目

科目名	単位数
医療保険論*2	2
医療産業論*2	2
医療経済論II*2	2
現代経済論B*3	2
医療経済分析	2
社会保障論II	2
社会政策特論	2

MMA科目

科目名	単位数
医療社会政策論	1
人的資源管理	1
財務・会計	1

東京医科歯科大学の修士課程 医歯理工学専攻 医療管理政策学(MMA)コースで一橋大学が提供する科目(大学間協定により他大学科目扱いで単位取得が可能)

東京医科歯科大学湯島キャンパス(お茶の水)にて、18時以降の時間帯に開講(予定)

プログラム参加申請

参加申請書類を経済学研究科事務室に提出、書類審査、面接による選考

一橋大学大学院 入学試験

入学試験についての詳細は各研究科・大学院のHP等をご参照ください。

商学研究科修士課程

商学研究科
管理会計特論(大学院科目。医療経済プログラムを履修しながらの履修で可)

経済学研究科修士課程

経済学研究科
ミクロ経済学(上級、もしくは中級)
マクロ経済学(上級、もしくは中級)
計量経済学(上級、もしくは中級)
公共経済学I・II
公共支出論A・B

国際・公共政策大学院(IPP)

国際・公共政策大学院(IPP)
ミクロ経済分析
マクロ経済分析
計量経済分析
公共経済分析
応用計量経済分析

社会学研究科修士課程

社会学研究科
社会福祉

医療経済プログラムに参加するためにあたって、各研究科・大学院において取得しておくことが推奨される科目群

本プログラムは、上記以外のすべての研究科・大学院の修士課程または専門職学位課程からも参加できます。

教員紹介 (平成29年度予定)



佐藤 主光 Motoshiro SATO

一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授
一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター長
担当科目:医療保険論 等



井伊 雅子 Masako II

一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授
担当科目:医療経済学セミナー、医療経済論II 等



山重 慎二 Shinji YAMASHIGE

一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 院長/教授
担当科目:インディペンデント・スタディ 等



小塩 隆士 Takashi OSHIO

一橋大学経済研究所 教授
担当科目:医療保険論、社会保障論II 等



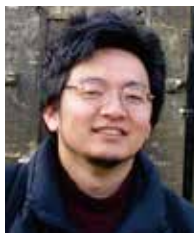
荒井 耕 Ko ARAI

一橋大学大学院商学研究科 教授
担当科目:MMA 財務・会計 等



林 大樹 Hiroki HAYASHI

一橋大学大学院社会学研究科 教授
担当科目:MMA人の資源管理 等



猪飼 周平 Shuhei IKAI

一橋大学大学院社会学研究科 教授
担当科目:社会政策特論 等



白瀬 由美香 Yumika SHIRASE

一橋大学大学院社会学研究科 准教授
担当科目:MMA医療社会政策論 等



中村 良太 Ryota NAKAMURA

一橋大学社会科学高等研究院 准教授
担当科目:医療経済学セミナー、医療経済分析 等



担当科目:健康増進政策論 医学総論
医療管理政策論
保健医療活動とリスク管理



担当科目:医療工学概論

お申込み

一橋大学大学院へ入学後、4月初めに「医療経済プログラム」への参加募集が経済学研究科より行われますので、下記の書類を提出してお申込みください。その後、書類選考、面接(いずれも4月中)を経てプログラムへの参加が認められます。

提出書類	<input type="checkbox"/> 志願票(所定様式) <input type="checkbox"/> 志願理由書(A4横書き、全体で1,600字程度)
書類提出先	経済学研究科事務室

経済学研究科以外の各研究科・大学院の修士課程・専門職学位課程に在籍する学生についても、「医療経済プログラム」への参加は、同じ申込方法で、同じ選考を経ます。

経済学部在籍する学生で、経済学研究科の「5年一貫教育システム」に参加する者は、学部3年生の秋学期から冬学期に実施される試験において、「医療経済プログラム」への募集も同時に行われます。5年一貫教育システム参加内定者となることにより、同時にプログラム参加内定者ともなりますので、改めて応募する必要はありません。

お問合せ

一橋大学大学院経済学研究科 事務室

▶ 医療経済プログラム・大学院入試について

E-mail: ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp
 FAX: 042-580-8195
 開室時間(9時~12時、13時~17時)
 〒186-8601 東京都国立市中2-1

▶ 5年一貫教育システムについて

経済学研究科 教育開発担当
 E-mail: e-develop@econ.hit-u.ac.jp

■ 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センターについて

医療政策・経済研究センター長 佐藤 主光

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、平成26年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。

日本の喫緊の社会的な重要課題の一つに医療・介護・社会保障を取り巻く問題があります。すなわち、人口の超高齢化に伴い、医療・介護費用が膨張の一途をたどり、大きな財政負担となっており、「限られた医療資源」をどのように配分すべきかについて、国民への説明責任を満たす科学的根拠に基づいた政策意思決定が求められています。

一橋大学では、この問題の解決に、質の高い社会科学によって貢献するため、平成28年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター」を設置し、医療経済の研究を進めています。

「医療経済プログラム」では、「医療政策・経済研究センター」における研究による最新の知見を、そのカリキュラムに反映させてまいります。

エグゼクティブ・プログラム

Executive Program

平成30年度開講予定

医療・介護機関の従事者（医師・看護師、事務職員）、地方自治体関係者、医療・介護の経営・政策形成に関わる方々といった、既に社会で医療経済にまつわる諸問題に取り組んでおられる社会人の方を対象としたエグゼクティブ・プログラムを開講予定です。

プロフェッショナルとして、医療・介護の課題解決に取り組む方々に短期集中型のプログラムで、経済・経営学をはじめとする社会科学の専門的な知見や、より高度な実務知識を身につけていただくものです。平成30年度の開講を目指し現在準備を進めています。

■2週間にわたる週末の集中講義（1日4コマ（90分／コマ）×4日間＝16コマ）

■課題レポート

のすべてを履修した方には、「修了証書」を発行いたします。

課題レポートは、一橋大学の教員によるe-mailを用いた指導のもと、約3か月かけて書きあげ、集中講義参加者が集う課題レポート報告会で報告していただきます。

全ての科目は一橋大学千代田キャンパスで実施されます。

一橋大学 千代田キャンパス

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

- 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線／新宿線「神保町」駅 A8出口から徒歩3分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅 1b出口から徒歩4分

詳細が決まり次第、HP等でお知らせいたします。